

ふるさと発見! あわっ子文化大使通信

あわ文化を次の世代に伝承し、徳島の魅力を県内外に発信する「あわっ子文化大使」のレポートです。

あたたかい阿波の味「おみいさん」

●あわっ子文化大使リポーター
阿波市立阿波中学校 三好 愛花

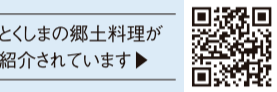


皆さんは、「おみいさん」を知っていますか。野菜がたくさん入っている徳島ならではの家庭料理です。「おみいさん」の「みい」は「味噌」という意味です。食材は里いも、大根の葉などのほかに、ニラや豆腐、時に卵を入れる人もいます。



おみいさん

各家庭で作り方や食材は異なりますが、どの「おみいさん」にも、味噌が入っています。「おみいさん」は雑炊ですが、汁気があまりありません。体調がすぐれない時や寒い日にふと食べたくなる、そんな郷土料理です。米が貴重だった当時、先人の知恵から生まれ、寒い冬場に冷えた身体を温めてくれる農家の郷土料理ともいえます。小学生の時に初めて友達と「おみいさん」を食べたとき、二人で顔を見合せて笑ったことを覚えています。



とくしまの郷土料理が紹介されています

「徳島の味」や「徳島人のおばあちゃんの味」などともいわれている、温かくて食べた人が思わず笑顔になる「おみいさん」。寒くなってきた今だからこそ食べたい「おみいさん」。ぜひ作って、友達や家族と一緒に食べてみてください。

●皆さんからのご意見・ご感想をお待ちしています。
グローバル文化教育課 ☎088-621-3054 FAX088-621-2882



トンしゃぶ鍋

- 作り方**
- ①ねぎは斜め切り、豚も肉、わかめはざく切りにする。
 - ②鍋の水を一煮立ちさせたところに、ねぎを入れる。
 - ③豚も肉とわかめを入れながら火を通す。
 - ④すだちとしょうゆを混ぜたタレをいただく。
- 材料 (4人分)**
- 阿波太ねぎ(浜葱) 2本 ●わかめ 30g
 - 阿波とん豚も肉薄切り 300g ●すだち 適量
 - しょうゆ 適量
- レシピ提供/もうかるブランド推進課

伝統産業が息づくまちに、新しい風を。

●滑良奈央さん 吉野川市 地域おこし協力隊

美術大学での経験が活かせる環境に身を置きたい。そんなアーティストとしての思いが徳島に移住するきっかけでした。

「大学時代、芸員の資格を取るために、2週間ほど吉野川市にあるアワガミファクトリーさんと阿波和紙のことを学ばせていただく機会がありました。その時に「もっとまちを変えていきたい」という地元の方々の熱い思いに心を打たれたことも大きかったですね」

現在は地域おこし協力隊の一員として、昨年5月吉野川市にオープンした coworking シェアオフィス「Ki-Da(きーだ)」の運営をサポート。ギャラリーが併設された真新しい施設で、市内各地で頑張る協力隊のメンバーと力を合わせながら地域の情報発信や交流の場づくりを行っています。「いま目指しているのは、地元の方々が、もっと気



●移住者の交流拠点としても期待されている coworking シェアオフィス「Ki-Da」。



●吉野川市で活動する協力隊メンバーと一緒に(中央が滑良さん)。

軽にアートにふれられる環境をつくること。藍染めや阿波和紙など、伝統産業を守り育てる職人たちが息づく徳島だからこそ、都会ではできないような展開が可能になっていると思っています」

自分たちの活動を引っ張っていく、地元の方々の存在も有り難いと滑良さん。「吉野川市だけでなく、徳島、四国と視野を広げた活動ができれば」と抱負を話してくれました。

自分らしい生き方を徳島で見つけました。

ここは、新たなスタートにふさわしい`穴場、的な場所。

●石川 翔さん・美緒さん 勝浦町 みかん農家・民宿経営



●自然豊かな勝浦町に移り住んだ石川さんご夫婦。みかんの他、すだちやレモンの生産もしています。

東京で生活を送っていた石川さんご夫婦が、自然豊かな勝浦町に移住したのは今から約5年前のこと。映画の制作現場やIT企業などでの仕事経験を持つお二人が選択したのは「みかん農家」としての新たな一歩でした。

「自然の近くで暮らす。自分たちで独立して仕事をつくる。ネコと一緒に暮らす。当時は、そんな緩い条件で移住先を探していました。県外にもたくさん候補地がある中で勝浦町を選んだのは、みかん農家の後継者としての募集があったことと、まだ移住者が多くない`穴場、的な場所だったから。ここなら、本当にゼロからのスタートが切れる予感がありました」

住居は、地元の農家が所有していた築100年の古民家を改修。周辺の畑でみかんを収穫する傍ら、農閑期には自宅を1日1組限定の観光客からも利用されるようになりました。

北欧の文化に着想を得たテントサウナの貸し出しサービスも人気を呼ぶなど、柔軟な発想で地域に新たな可能性を生み出しています。

「地域の方々に温かく支えていただき、毎日のがすごく充実しています」と石川さん。理想の暮らしを追い求めながら、マイペースな徳島暮らしを楽しむ日々が続きます。



●農閑期には自宅の1階を「みかん農家の宿」として活用。土間に予約制の古本屋を併設しています。

ローカルだからこそ、チャンスが広がっている。

●根本弘之さん・ちとせさん 鳴門市 正藍染工房経営

「よく田舎暮らしの魅力を聞かれますが、本音を言えば、都会と田舎で過ごす時間を半分ずつに分けて暮らしたいですね」

そう言って笑うのは、鳴門市で藍染工房を営む根本さんご夫婦。お二人ともパレル関係の仕事に携わっていましたが、お互いのキャリアを活かした仕事を始めるため、ちとせ

さんが藍染め関連のまちづくりを推進していた美馬市に地域おこし協力隊として着任。染料液の維持管理や観光サービスの基本を学んだ後、一昨年4月下旬、鳴門市にある、ちとせさんの実家で藍染工房をオープンしました。現在は自分たちが企画した藍染めブランドを一貫生産によって商品化し、店舗やインターネットでの販売を行っています。



●一昨年4月、鳴門市に藍染工房をオープンした根本さんご夫婦。



●「本当に美しいもの」をテーマに、正藍染めの技法を用いたオリジナルブランド展開中。

「文化的な刺激は都会で吸収することの方が多くですが、ローカルにいるからこそ生まれる作品もある。東京にも大阪にもわずか1、2時間ほどで移動できるこの場所は、作品づくりだけでなく、都市部との商談においても恵まれている環境だと言えます」

イタリア滞在時には、世界的なビッグブランドがイタリアの田舎に本拠地を構える風景を目の当たりにしてきた根本さん。「鳴門のイメージを作品づくりに活かしながら、ここにしかない作品を多くの人に届けていきたい」と意気込みを話してくれました。

感染リスクが高まる「5つの場面」に気をつけよう!



徳島県新型コロナウイルス対策ポータルサイト

●もう一度、気を引き締めて感染対策を!

▶場面1 飲酒を伴う懇親会等

- 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。
- 特に敷居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- また、回し飲みや箸などの共用が感染のリスクを高める。

▶場面2 大人数や長時間におよぶ飲食

- 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事に比べて、感染リスクが高まる。
- 大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。

▶場面3 マスクなしでの会話

- マスクなしに近距離で会話をすることで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- マスクなしでの感染例としては、昼ラオケなどでの事例が確認されている。
- 車やバスで移動する際の車中でも注意が必要。

▶場面4 狭い空間での共同生活

- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- 寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。

▶場面5 居場所の切り替わり

- 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることもある。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。

鳥インフルエンザを疑う死亡野鳥に関する対応について

- 死亡している野鳥を見かけた際には、触れないようにして、最寄りの市町村や県民局、鳥獣対策・ふるさと創造課、または、次のフリーダイヤルへご連絡ください。

死亡野鳥への対応フリーダイヤル
0800-200-5444 (8:30~18:15)
※休日・夜間:088-621-2057(県庁衛視室)

- 鶏肉や鶏卵を食べることで鳥インフルエンザウイルスがヒトに感染する可能性はないと考えられています。正しい情報に基づいた冷静な対応と、知らず知らずのうちにウイルスを運び込むことのないよう、ご理解、ご協力をお願いします。

【問】●鳥獣対策・ふるさと創造課
☎088-621-2262 FAX088-621-2781
●安全衛生課
☎088-621-2229 FAX088-621-2848

県庁だより

県主催の講習会や募集などさまざまな情報をお知らせします。

▶募集しています

- 県営住宅入居者**
【募集戸数】54戸
【申込】2月1、2日10:00~16:00に県庁11階講堂へ
【問】県住宅供給公社 ☎666-3125 FAX666-3126
県営住宅PF管理センター ☎678-2271 FAX655-6255
- とくしま経済飛躍ファンド助成事業**
県内の頑張る中小企業を支援します。
【応募期限】2月12日
【問】とくしま産業振興機構 ☎654-0103 FAX653-7910

●とくしま健康ポイントアプリ「てくとくで」
「もっと野菜を食べよう!チャレンジ」実施中

1日の野菜摂取目標量「350g」にチャレンジしてみませんか。チャレンジ達成者の中から、抽選で県産野菜をプレゼント!
【期間】1月4~31日
【問】県健康づくり課 ☎621-2208 FAX621-2841

●令和3年度県立徳島中央高等学校通信制課程の生徒
【選抜方法】書類審査・作文・面接
【願書受付期間】▼転入生・編入生【一次】2月24、25、26日【二次】3月18、19、22日▼新入生

【一次】3月3、4、5日【二次】3月22、23日
【問】県立徳島中央高等学校 ☎631-1332 FAX633-3669

お知らせ

●**とくしま健康ポイントアプリ「てくとくで」**
「もっと野菜を食べよう!チャレンジ」実施中
1日の野菜摂取目標量「350g」にチャレンジしてみませんか。チャレンジ達成者の中から、抽選で県産野菜をプレゼント!
【期間】1月4~31日
【問】県健康づくり課 ☎621-2208 FAX621-2841

●「awa臨港プロジェクト」設計コンペ二次審査会

【とき】1月15日12:45~
【ところ】徳島グランヴェリオホテル
【内容】公開プレゼンテーション、審査会、表彰式
【問】県住宅課 ☎621-2613 FAX621-2871

●**女性活躍推進、仕事と育児の両立支援に向けたシンポジウム**
【とき】1月21日13:30~

【ところ】あわぎんホール
【問】県次世代育成・青少年課 ☎621-2730 FAX621-2843

●自死遺族交流会のご案内

自死遺族の方の語り合いの場です。
【とき】1月22日13:30~
【ところ】県精神保健福祉センター
【問】同センター ☎602-8911 FAX652-2327

●エクスプロア徳島南Vol.2 in海陽

徳島南の価値を「再発見」するトークイベントをYouTubeによるオンライン生配信で開催します。「EXPLORE徳島南」で検索。
【とき】1月22日17:00~
【問】県南部総合県民局(美波) ☎0884-74-7353 FAX0884-74-7337

●**とくしま就職支援WEBマッチングフェア**
【とき】1月25~29日10:00~
【ところ】県労働者福祉協議会(通信機器、Wi-Fi環境をお持ちでない場合)
【内容】Zoomを使用したマッチングイベント
【問】県労働者福祉協議会 ☎625-8387 FAX625-5113

●**事業者向けリフォームセミナー**
【とき】1月25日13:30~
【ところ】ホテル千秋閣
【申込】参加費無料。申し込みは住宅リフォーム推進協議会のHPからお願いします。
【問】県住宅課 ☎621-2594 FAX621-2871

●大学生のための教職ガイダンス

【とき】3月19日12:50~
【開催】Zoomによるオンライン形式での実施
【対象】教員志望の大学生など(参加無料)
【内容】講義、教員との意見交換会等
【問】県立総合教育センター ☎672-6420 FAX672-6411

ご意見募集

●**オープンとくしま・パブリックコメント**
現在、意見を募集している計画等は次のとおりです。
◆徳島県気候変動対策推進計画(適応編)(素案)
【内容】昨年度策定した同計画(緩和編)と両輪で、気候変動対策を推進するもの
【応募期限】1月20日
【問】県環境首脳課 ☎621-2253 FAX621-2845

※市外局番(088)を省略しています。